



は る か



すてきな大人になるための3つの“あ”
「あいさつ・あきらめない・あいてのために」

今年もあと1週間です 2024年を振り返りましょう

今日で今年の登校が終了しました。保護者の皆様や生徒の皆さんにとって今年はどんな年だったでしょうか。今年も残すところあと1週間。2024年のお子様の成長をご家族でじっくりと振り返っていただきたいと思います。本校において今年1年、大きな事件、事故もなく過ごすことができたのは、ひとえに保護者の皆様がお子様をしっかりと支えてくれたおかげです。心から感謝いたします。

2025年の学校は1月8日（水）からスタートします。2025年も生徒が、安心、安全に過ごせる学校づくりを継続してまいりますので、今後ともご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

《全校集会渡部恭校長の話より》

令和6年も、残り8日となりました。

日吉台中生391名の、今年一年の成長を喜ばしく思いつつ、皆さんを大切に守り育ててくださっているご家族の皆様と、日々の授業や多様な業務に、使命感をもって取り組んでくださっている教職員全員に、心より感謝申し上げます。

2024年を振り返ると、皆さんの学校生活はおおむね立派でした。特に、10月28日の合唱コンクールは、日吉台中生の真価を発揮した、と言えるでしょう。

朝に夕に、各クラスから聞こえてくる合唱は、全員の心の成長を表すかのように、急カーブを描いて上手になりました。当日、フィナーレを飾る3年生のいずれのクラスもが、聞く者の心に響く、最高の合唱を創り上げてくれました。その感動は、今も心に残っています。

さて、後期の後半に向けて、確認してほしいことが一つ。始業式で伝えた「一日の授業の内容を家で思い出すこと」について、皆さんは実行してくれましたでしょうか？

私たちの脳は、思い出すとしなければ、そのまま忘れるようにできています。言い換えれば、忘れる能力を発揮することで、新しいことに備えようとするのです。

反対に、何度も思い返していることは、脳細胞のネットワークが強化され、記憶として定着し、忘れなくなります。

そのことを踏まえ、一月からあらためて、その日の授業について、家で思い出すことを、習慣にしたいと思います。

また、明日からの冬休み、皆さんにはぜひ「読書」に取り組んでほしいと思います。読書は、たいへんな労力と時間をかけて書物を生み出した著者が、本を読んでいる自分だけに向かって、一対一で語りかけてくれる、この上なく贅沢なく営みです。その上、読めば読むほど、皆さんの読解力を確実に伸ばしてくれます。朝読書という学校での毎日の取組を絶やさず、本を読むという有意義な時間を、より多くつくってください。

おむすびに、冬休み中の皆さんの無事を祈るとともに、日吉台中生一人一人の、来年の一層の成長と活躍を願っています。特に、3年生の皆さんには、受験合格とその後の高校生活に向けて、学習面での一層真剣な取組、さらなる積み重ねを大切にしてください。自信を持って、新たな一歩を踏み出すために。

以上でお話を終わります。

1 月 の 予 定

12/22 日	23 月 全校集会 部活動休止	24 火 冬季休業日 (～1/8) 調査書等作成委員会	25 水	26 木	27 金	28 土
29 日	30 月 閉庁	31 火	1/1 水 祝／元日	2 木	3 金	4 土
5 日	6 月	7 火 教育フォーラム	8 水 全校集会 弁当の日	9 木	10 金 専門委員会	11 土
12 日	13 月 祝／成人の日	14 火 中央委員会	15 水 部活動休止 職員会議 私立推薦入試 3年自宅学習	16 木 書きぞめ練習会	17 金	18 土
19 日	20 月 A 時間割開始 部活動休止	21 火 中学校の先輩の話 を聞く会(小学校)	22 水 部活動休止 教育課程検討会	23 木	24 金 PTA 役員会	25 土
26 日	27 月	28 火 教員小学校参観 部活動休止	29 水	30 木 私立 A 日程入試	31 金	2/1 土

閉庁日のお知らせ

12月30日(月)から1月3日(金)は、閉庁となります。前後の週休日と合わせると、12月28日(土)～1月5日(日)まで閉庁となります。

この間に、緊急で学校と連絡を取りたい場合は、学校携帯 [080-3124-4244](tel:080-3124-4244) に連絡を入れてください。

善行生徒紹介

本校の2名の女子生徒が、11月28日午後2時半頃、日吉台の路上に転倒して動けなくなっていた高齢の女性を助けてくれた、と消防署から連絡が入りました。

生徒は、3年4組の大倉茉莉乃さんと、會田梨緒菜さんです。

二人が女性に声をかけたところ、「助けてください」と言っており、大倉さんはすぐに119番に連絡を入れ、會田さんは寒さで震えていた女性に自分の着ていた上着を脱いで掛けてあげました。救急車はすぐに来て、女性を病院に連れて行きました。命に別状はないとのことでした。2人は大変すばらしい活躍をしてくれました。



大倉さん(右)と會田さん

おめでとう

SEIBUNアートグランプリ2024

仙台地区中学校読書感想文コンクール
同

J A小中書道交通安全ポスターコンクール

富谷黒川地区作曲コンクール

心身の健康増進に努めた生徒

佳作賞

優秀賞

優良賞

銀賞

最優秀賞

大場 広翔さん(3-1)

佐藤

栗山

千葉

渡邊

高橋

莉衣さん(3-2)

佳菜さん(2-1)

緯都さん(3-2)

奈歩さん(2-3)

花菜さん(3-2)

※次号でも紹介します

